



AJOSC
全日本社会貢献団体機構

編集後記

「社会貢献活動年間報告書2013」の発行にあたって

全日本社会貢献団体機構がスタートして9年目に入りました。子どもの健全育成や、命を大切にする研究や活動、学術・文化の振興に関する活動を支援する助成事業を柱とした当機構の社会貢献活動に対し、各方面の評価と期待は高まっています。2011年3月に発生した東日本大震災から3年が経過しましたが、復興にはまだまだ先の見えない状態です。いまだ避難を余儀なくされている人々や支援の手からこぼれてしまった人々がいます。機構として復興支援のため助成を2014年も継続しています。震災を忘れないでほしいというメモリアルの保存事業や心のケアとコミュニティの形成など精神面を支える事業などにも助成しています。

2013年の助成申請では、件数は211件、申請総額では6億688万円で、前年より件数、申請総額共に倍増しました。特に「東日本大震災関連事業」の申請が前年の15件から58件に、「コミュニティ強化支援事業」が11件から22件に増加しており、東日本大震災復興関連への支援の必要性を実感いたしました。

9冊目となる「社会貢献活動年間報告書

AJOSC's 2013」をお届けします。

この報告書は、2013年1月から12月までの一年間に当機構と会員が実施した社会貢献活動を取りまとめたものです。編集に当たっては、「共感、共生、共助の社会へ」をテーマとしました。世界的に「格差」が常態化し、それを原因とするさまざまな問題が発生しています。日本も、その問題と無縁ではありません。そんな時代だからこそ、格差を是正し、誰もが幸福や平和の恩恵にあずかれるような知恵が求められています。この基本理念として再確認しなければならないのが、「共感、共生、共助」の精神です。一人ひとりが他者や社会へ手を差し伸べる事が重要と思われれます。

この報告書は、機構の会員をはじめ、全国の図書館や自治体、警察、経済界、マスコミなど各方面にお送りしていますが、機構や全日遊連の社会貢献活動への理解を深めていただく一助になればと願っております。

平成26年7月吉日
全日本社会貢献団体機構
専務理事 榎原光裕

AJOSC (All Japan Organization of Social Contribution の略称です)

社会貢献活動年間報告書2013

- 発行日:平成26年(2014年)7月24日
- 編集・発行:全日本社会貢献団体機構
〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町16市ヶ谷見附ハイム103
<http://www.ajosc.org>
- 編集協力:株式会社エム・シー・エー
- 印刷:ヨシダ印刷株式会社